

平成 30 年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



平成 30 年 12 月
海老名市立上星小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

(1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

(2) 児童生徒に対する質問紙調査

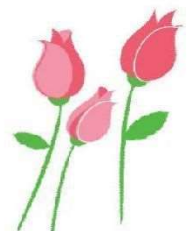
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

(3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成30年4月17日(火)



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す事。



話す・聞く力

- 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える事。



書く力

《努力を要する所》

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う事。
- 相手や場面に応じて適切に敬語を使う事。



言語についての知識・理解・技能

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 話合いの参加者として、質問の意図を捉える事。
- 計画的に話し合うために、司会の役割について捉える事。



話す・聞く力

《努力を要する所》

- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む事。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む事。



読む力

これまでの取組から

- 国語の授業だけでなく、他教科や児童会活動などにおいて話し合い活動を取り入れているため、話し合いに参加する基本的な力が身についている児童が多くみられます。
- 作文指導の際、文章を書き始める前に構成表を作るなど、全体を見通して書くよう指導を行っているため、順序立てて文章を書くことができる児童が多くみられます。

今後の具体的な取組について

- 漢字の指導において、読み方や字形に注意した繰り返し練習にとどまらず、同じ音や同じ部分をもつ漢字の意味を調べ、文脈の中で使い分けに着目できるよう指導していきます。
- 敬語を適切に使うことができるようにするために、国語の授業だけでなく、総合的な学習の時間、委員会活動などの特別活動においても、公の場や相手を意識した言葉の遣い方に対する感覚を養っていけるよう指導していきます。
- 調べ学習をする際、1つの資料から情報を得るのではなく、複数の資料を読み、自分の目的に合わせて情報を取捨選択するよう指導していきます。

算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 同一面積における、混み具合の比べ方を理解する事。
- 180° の角の大きさを理解し、角の大きさを求める事。



数量や図形についての知識・理解

《努力を要する所》

- 小数の除法の意味について理解し、与えられた式から問題場面を選ぶ事。
- 円周率の意味について理解し、円周率を求める式を選ぶ事。



数量や図形についての知識・理解

- 百分率を求める事。
- 折れ線グラフから変化の特徴を読み取り、示された事柄が当てはまるグラフを選ぶ事。(無解答率が高い)



数量や図形についての技能

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 示された情報を解釈し、条件に合う時間を求める事。



数学的な考え方

《努力を要する所》

- 図形の構成要素や性質から、集まった角の和が 360° であることを記述する事。
- 情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目し記述する事。
- グラフから読み取れることを適切に判断する事。
- 与えられた条件における必要数について、根拠を明確にして記述する事。



数学的な考え方

与えられた条件や問題場面を正確に読み取ったり、判断したりする力が不十分であると推測される。また、説明に苦手意識が強いので、機会を増やして身に着ける必要がある。

これまでの取組から

- 引き続き、既習事項に立ち返りながら課題に取り組む活動を重点的に指導します。
- 個人で課題に向き合い、自分の考えを持つための時間を十分にとり、自力解決による達成感を味わえるように指導します。

今後の具体的な取組について

- 条件や問題場面を正確に読み取ることができるよう、条件文と求答文に注目して問題に取り組めるよう支援します。
- 既習事項に立ち返り、それらを基にした自力解決を多く行っていきます。また、説明の活動を増やして、話し合いを充実させ、より深い理解につなげられるよう支援します。



理科に関する調査結果

《優れている所》

(主として「活用」に関する問題)

○複数の情報(川の上流側の天気と下流側の川の水位)を基に考察して分析する事。
(科学的な思考・表現)

○太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を、ものづくりへ適用する事。

(科学的な思考・表現)

○海水と水道水を区別するために、複数の方法による実験結果を基にして分析する事。
(科学的な思考・表現)

《努力を要する所》

(主として「知識」に関する問題)

○流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ事。
(自然事象についての知識・理解)

○ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気づき、適切に操作する方法を選ぶ事。

(観察・実験の技能)

(主として「活用」に関する問題)

○人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ事。
(科学的な思考・表現)

○流れる水の働きによる土地の浸食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ事。

(科学的な思考・表現)

○乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に活用して、風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶ事。

(科学的な思考・表現)

○物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用し、食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ事。

(科学的な思考・表現)

これまでの取り組みから

○授業の展開を「課題設定」「予想」「実験・観察」「結果」「考察」「まとめ」という、一連の流れに沿って指導してきたことで、課題解決の基本的な力を育んできました。

今後の具体的な取り組み

○科学的な言葉や概念を理解すること、及び言葉の意味を的確に捉えることができるようにするために、実際の自然の事物・減少に適用して説明する場面を設定していきます。

○実験の方法や仮説を考えたり、もの作りをしたりする際に、これまでに学習したことを生かして考えることや、そこで用いた性質や働きを明らかにすることを意識できるように指導していきます。

児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 算数、理科の学習についての回答ではどちらの教科の学習も大切であると答えた児童が多く、算数では問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えるなど前向きに授業に取り組む姿勢が感じられる。
- 家で学校の宿題を忘れずにしていると回答した児童が97%近くおり、多くの児童に宿題への日常的な習慣が身につけていることが分かる。

《課題と思われる所》

- 「家で、自分で計画を立てて勉強していますか。」という質問に対して約半数の児童が、「していない」と回答があった。宿題に対しては忘れずに取り組んでいる。自主的に課題を見つけ取り組む習慣も身につけさせていきたい。
- 理科の学習についての質問では「理科の学習は大切だ。」と多くの児童が答えている。「学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている」と答えた児童の割合が少ないことがわかる。

生活について

《よかった所》

- 「朝食を毎日食べていますか。」という質問に対し、92%の児童が「している」と答え、また、「毎日同じくらいの時刻に起きていますか。」という質問に対して87%の児童が「している」と答え、生活リズムを意識している児童が多いことが分かる。
- 「家の人と学校での出来事について話をしますか。」という質問に対して、80%近くの児童が「ある」と答えており家の人とのコミュニケーションを大切にしていることが分かる。

《課題と思われる所》

- 「今、住んでいる地域の行事に参加していますか。」という質問に対して参加していると答えている児童は約半数であった。地域の人との関わりや社会をよくするためへの意識を高めていくことが課題である。
- 「新聞を読んでいますか。」という質問に対して75%の児童が「読んでいない」と答えている。



これまでの取組から

- 学習課題に対して難しい問題や解き方が分からないときは、新しい単元に入る前の手立てとして、既習事項を振り返ったり、もっと違う方法で解くことができないかなど友だちと意見を交換したりして、諦めずにいろいろな方法を考えるよう指導しています。

今後の具体的な取組について

- 宿題など決められた課題だけでなく、自分の興味・関心や苦手な学習などから課題を見つけて学習に取り組む姿勢も身につけさせていきたいと思います。
- 地域社会への所属意識を高め、地域社会への参加を積極的に促していきます。

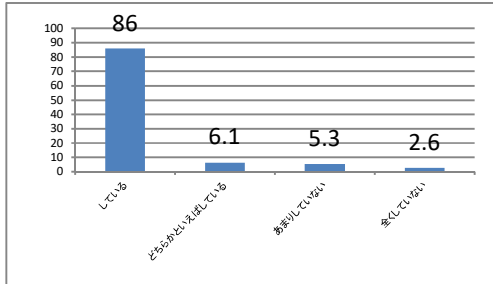
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 朝食をしっかりと食べて、一日を元気にスタートしましょう。

朝食は一日を元気に過ごすための大切なエネルギーです。抜かずに毎日しっかり食べましょう。

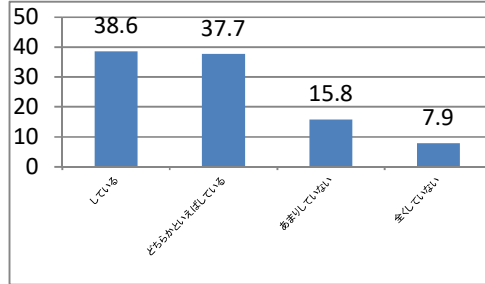
朝食を毎日食べていますか。



2 毎日同じ時刻に寝るようにしましょう。

夜更かしは、翌日の活動や体調に強く影響します。寝る前に強い光(テレビ、PC、スマホなど)を浴びすぎないことも重要です。

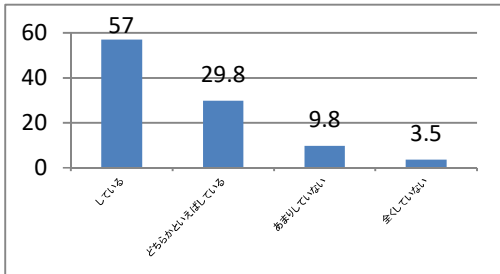
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



3 毎朝同じ時刻に起きるようにしましょう。

毎日のリズムを朝に作りましょう。起きたら朝日を浴びて体内時計を整え、体と心を起こしてあげましょう。

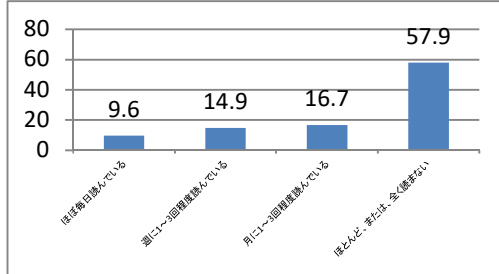
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



4 新聞を読んで、地域や社会の変化を知るようにしましょう。

読めるときには新聞を読んで、社会の出来事について家族で話し合ってみましょう。

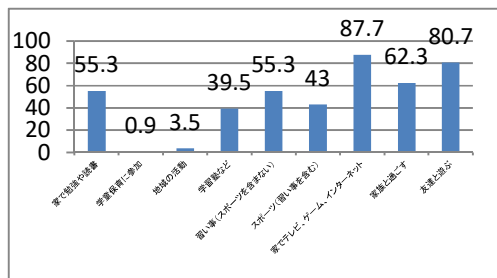
新聞を読んでいますか。



5 放課後の時間を有効に使いましょ。

体を動かしたり、授業の復習をしたりするなど、継続的に取り組んで将来の役に立つ力をつけましょう。

放課後に何をして過ごすことが多いですか。(複数回答)



6 家庭での会話を大切にしましょう。

普段の生活や学習、さらに社会の出来事や将来などについて積極的に話し合いましょ。

家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。

